

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産研究費

事業名 【新】飛騨牛研究部電気設備改修工事

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産研究所 電話番号：0577-68-2226

E-mail：c24509@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,457 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,457	0	0	0	0	0	0	0	1,457
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

電気設備の保安点検において、電気設備（電線など）について、設備設置から26年が経過していること、柱上のキュービクルについては冬季の冠雪、鳥獣の接触など電気事故発生懸念がある（場内のキュービクルに電気事故が発生すると、場内にとどまらず、旧清見村内など一定規模に停電が発生する恐れがある。）ことなどの安全保安上の観点から、新設設備への交換が推奨された。

(2) 事業内容

飛騨牛研究部電気設備改修について令和6年度当初予算により実施設計費等を計上し、令和7年度に工事費等を計上する。

- ・実施設計委託費 1,435千円
- ・事務費 22千円

(3) 県負担・補助率の考え方
・ 県10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	17	
燃料費	5	
委託料	1,435	電気設備改修工事を実施するための設計委託料
合計	1,457	

決定額の考え方

既定経費で対応することとし、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担
令和6年度の実施設計を基に、改修事業費を算定する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

畜産研究所飛騨牛研究部場内の電気設備について、令和7年度中に新規設備に交換する改修工事を実施したい。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①設計委託				1		
②工事					1	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 今回要求の設備や牛舎を始めとする各種の施設、農機具及び備品等が老朽化してきており、飼養管理に支障を来す場合も生じていることから、計画的な改修・更新が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 畜産研究所における施設維持管理の整備は、種雄牛の安全な飼養管理を実施するため及び安全、安心な肉用牛の供給に資するための研究を継続するため、飛騨牛振興に必要不可欠であることから、着実に事業を進める。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】